

『食べ物が自閉症を進展させる』

段云峰^①，吴晓丽^{①②}，金鋒^①

① 中国科学院心理研究所，心理健康重点实验室，北京

② 中国科学院大学，北京

2015-05-06 收稿，2015-06-09 接受

中国博士后科学基金(2013M541072)

【摘要】

自閉症は社会生活能力や他者とのコミュニケーション能力に障害・困難が生じたり、こだわりが強くなる神経発生的障害の一種。言語能力、生活能力喪失、一生に治療が必要となる場合もあります。自閉症発病率の上昇は、患者家族へ社会的、経済的に深刻な負担をもたらします。

自閉症の病因とメカニズムについては未解明の部分が多く、有効な治療方法などが確立していません。現在の研究において、自閉症と食事に密接な関係があることが分かってきました。不健康な飲食習慣において、食品中の有害物質と共に栄養を吸収することによって起こる代謝異常などが原因で免疫と内分泌、エネルギー代謝に影響を与え、最終的に脳の発育へ影響を及ぼします。

食物は腸の微生物の重要な影響要因であり、腸内微生物のバランスが人体にとって最重要であり、腸内微生物の腸-脳軸により脳の正常な働きと発育に影響を与えます。食物中の栄養成分、成長推進物質及び食物に付着した微生物が腸内微生物の成長と構成に十分な物質的土台となります。

食物は自閉症患者の栄養状態と消化器症状及び睡眠、自虐、頑固、発達症、暴力などの異常症状を緩和することができます。それだけでなく、他者とのコミュニケーション能力と語学力も向上することができます。自閉症患者は善玉菌の摂取後、腸内菌バランスが改善すると同時に自閉症の症状も軽減していきます。

このように、腸内微生物は自閉症の治療方法のひとつとして今注目されています。食物と腸内微生物と自閉症との関係は今後の最重要研究テーマとなっています。自閉症は先天性の脳機能障害とされるが、脳機能上の異常から認知障害の発症へといたる具体的なメカニズムについては未解明の部分が多い。